

高崎市教育委員会定例会会議録	
開 会 年 月 日	令和2年5月19日（火） 午後5時
閉 会 年 月 日	令和2年5月19日（火） 午後5時31分
会 議 の 場 所	教育委員会室
教 育 長 飯 野 眞 幸 委 員 清 水 久 美 委 員 重 田 誠 教育長職務代理者 竹 内 一 普 委 員 塚 田 展 子	
事 務 局（説明員）	
教育部長 小 見 幸 雄 教育総務課長 植 原 政 美 文化財保護課長 角 田 真 也 中央図書館次長 齊 藤 寛 方 学校教育課長 橋 爪 幸 雄 教育センター所長 永 井 智 幸 書記 教育総務課 宮 澤 信 宏 学校教育担当部長 佐 藤 明 彦 社会教育課長 土 谷 真由美 中央公民館長 藍 美 香 教職員課長 大 澤 克 教 健康教育課長 山 崎 幹 夫 高崎経済大学附属高等学校事務長 神 宮 義 子	

5月19日	会 議 に 附 し た 事 件
議案第13号	独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する規則の一部改正について

高崎市教育委員会 5 月定例会会議録

教育長（飯野眞幸）

これより、高崎市教育委員会 5 月定例会を開会いたします。

この際、諸般の報告を申し上げます。塚田委員から遅れる旨の連絡がございました。以上で報告を終わります。

それでは、議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第 1 会期の決定といたしまして、会期は、本日 1 日といたします。

日程第 2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、清水委員と重田委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第 3 会議録の承認といたしまして、前回と臨時会の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（飯野眞幸）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第 13 号「独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金に関する規則の一部改正について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（山崎 健康教育課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質疑等ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することで、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議なしと認め、議案第 13 号は原案のとおり決しました。

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局から何か報告等がありますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

それでは委員の皆様から、この際、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

委員（清水久美）

教育センターにおいて、不登校の子どもに対し精力的に活動されているとお聞きしました。現在、みんなが学校に通えない状況ですが、この期間中、不登校の子どもへの対策はどのようにされていたのでしょうか。また、今後の対策はどのようにされますか。

教育センター所長（永井智幸）

現在、不登校の子どもたちの様子について、適応指導教室の室長が学校を回って様子を伺っています。また、不登校の子どもたちの状況によっては、教育センターの所管で受け入れを行っています。今後も密に連絡をとるとともに、校長先生方には、不登校の子どもに関わらず、保護者からの相談にのっていく体制でいると伝えてあります。

教育長（飯野眞幸）

今年度は教育センターの機能と学校教育課の不登校機能を強化した形でスタートしています。今、登校日は設けていませんが、学校に時々来てくれる子どもたちの中に、ずっと不登校だった子どもが来るようになったという話も聞いています。

また、これだけ長い休校期間があると、学校が再開した時に逆に来られるかという不安もありますが、そういった不安を抱えている子どもがいることを想定しながら準備をしてくれていると思います。再開した後の不登校の子どもへの配慮などはいかがですか。

教育センター所長（永井智幸）

今週中に学校へ配布する「教育センターだより」において、再開前後の子どもたちのケアについて案内をしています。また、18日から不登校対策の指導員が学校を回って相談を受ける体制も整えています。

教育長（飯野眞幸）

学校教育課の方はいかがですか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

休校中も心配な児童生徒に対して担任の先生が声をかけたり、電話連絡をしています。再開してから同じように、より細かく努めて行きたいと思っています。

教育長（飯野眞幸）

学校教育課にスクールソーシャルワーカーが配置されていると思いますが、その辺の連携はいかがですか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

スクールソーシャルワーカーにつきましては、休校中も各学校と連携をとり、また、学校教育課との連携も深めながら、通常どおり各学校に足を運んでいます。

委員（清水久美）

とても精力的に動いてくださっているお話を聞いています。義務教育中に本当に深刻になってしまうと、一生にも関わって来るので、この時期にどうにかしてあげたいという思いです。今後も皆さんで協力して頑張ってくださいよう、よろしくお願いします。

教育長（飯野眞幸）

その他にご質問等ございますか。

委員（重田誠）

不登校の子どもは、みんなが休みだと割と気が楽なようです。逆に大丈夫だった子に「学校が始まっていいね。」と言うと、すごくニコニコする子と暗くなる子がいて、不登校の子はもちろん、そうでない子も、結構長く休んでいると行く事がストレスになっていると思います。

教育長（飯野眞幸）

貴重なご意見ありがとうございます。不登校の子どもをどう指導していくかというお話でしたが、行く事にストレスを感じている子どもたちがいるという事を前提に、学校の再開に向けて準備をしていく事が必要だと思います。

他にいかがでしょうか。

教育長職務代理人（竹内一普）

6月の学校再開に向けて、ある程度見通しが立ってきたのかなという事でお聞きします。感染防止等の対策につきましては、教育長からご説明いただいておりますが、そういった中、年度末までに、例えば夏休みの措置や修学旅行などは、段階的にどのように計画していくのか情報を共有したいと思います。どのようにお考えでしょうか。

学校教育担当部長（佐藤明彦）

夏休みについては、今後検討していく予定ですが、先日、県からその基準となるものが示されました。本市においても、それを基に子どもたちの実態を考え、学校と相談をしながら決定して行きたいと思っています。

また、修学旅行については、春に予定していた学校がいくつかありましたが、そちらは秋へ移動してもらっています。今後は状況を見ながらにはなりますが、子どもたちが楽しみにしている行事については簡単に中止にするのではなく、少しでも実現させてあげたい気持ちでいますので、学校とも同じ思いを共有しながら考えている状況です。

教育長職務代理人（竹内一普）

可能性があれば、ぜひ実現して頂きたいと思います。もう1点、感染防止対策についても完璧である事は理解しておりますが、今、コロナウイルス感染に対するいじめの問題が取り上げられていると思いますが、その辺の偏見などの対策はどのようにお考えでしょうか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

コロナウイルス感染に関して、差別や人権侵害に繋がるという事は当然考えられます。いじめ防止に対して色々な形でアプローチをしていますが、様々な差別の種類がありますので、総括した上で新型コロナウイルスの件も含めてそのようなことがないように、学校再開に向けて注意喚起を促しながら、最終的に子どもたちが当事者意識をもって取り組めるようにしていきたいと思っております。

教育長（飯野眞幸）

補足をさせてもらいますが、介護施設でのコロナウイルス発生につきましては、県内でも色々な差別や偏見が話題になりました。その延長で、そういった雰囲気が学校の中に持ち込まれる事は避けなければいけないと思います。学校教育課長の説明のように、学校再開にあたっての注意事項として、しっかり認識してもらい準備が進んでいるところでございます。

教育長職務代理者（竹内一普）

ありがとうございます。清水委員のご提案もあって、校長先生のメッセージができたと聞いております。ぜひ、このような点についても、共通して取り上げていただきたいと思いますので、意見として触れさせていただきました。

教育長（飯野眞幸）

清水委員からファックスをいただきまして、その内容につきましては、私が校長先生方へ口頭で伝えさせていただきました。その中には、どのように感染防止対策をしたら良いかや、励ましのメッセージがありました。とても良い反応をしてくれたと思います。その他にいかがでしょうか。

委員（清水久美）

今回のコロナウイルスの影響で、緊急帰国したALTが数名いると伺いました。その欠員分を補填するののかという事と、するとしたら、その時期は通常より早めるのかどうかをお聞きいたします。

学校教育課長（橋爪幸雄）

今、ALTは募集をかけているところです。この夏に30名入れ替わりますので、それに向けて準備を進めておりますが、欠員分は現在募集中でございます。

委員（清水久美）

どのくらいの欠員が出たのでしょうか。

学校教育課長（橋爪幸雄）

1人でございます。

教育長（飯野眞幸）

休校期間中に、ALTから大変だというような声はございましたか。

委員（清水久美）

給料などの対応をきちんとしてくださっているのです、逆に感謝しているという声を聞いています。仕事には行けないのですが、生活は出来ているので、有難いと言っていました。また、学校再開に向けて、自主的に自宅で英語の教材のDVDを作成しているようでした。困ったというよりも有難いという声を聞いています。

教育長（飯野眞幸）

以前報告いたしましたが、A L Tが色々な所に行って、感染されないようにとかなり慎重になっていました。

委員（清水久美）

色々なタイプのA L Tが居ると思いますが、私が担当した方は、真面目で律儀な方なので、仕事も自宅でしっかりしていて、自粛という対策をとっているようでした。ただ、全体を見ると、性格や行動範囲が違うと思いますので、一概には言えないと思います。

教育長（飯野眞幸）

かなり行動の規制をかけてしまいましたので、その辺の不満が出てこないか心配していたところです。

委員（清水久美）

A L Tの方も横の繋がりや、情報交換をしていると思いますが、私が聞く限りでは、そのようなお話は出ていないようです。

教育長（飯野眞幸）

それは有難いですね。

委員（清水久美）

もう1点ですが、先日、エフエム群馬を聴いていましたら、角田文化財保護課長が、上野三碑のかるたについてのお話をされていました。かるたの事をとても分かりやすく説明されていて、高崎経済大学附属高等学校の学生さんもお手伝いされているという話でした。とても良い内容でした。

文化財保護課長（角田真也）

高崎経済大学附属高等学校の書道部の生徒さんには大変お世話になりまして、良いものが出来ました。ありがとうございました。

現在、県内の小、中、高等学校、特別支援学校に1部ずつ配布いたしました。その後、希望を募りまして、1千部を超える希望をいただきまして、順次発送する予定です。市内の学校からも多数希望をいただいております、学校が再開したら教材として使いたいという声もいただいております。

教育長（飯野眞幸）

他にいかがでしょうか。

委員（重田誠）

医療関係者からのお願いなのですが、先程、偏見という話が出ましたが、実際私の所に来ている看護師さんで、コロナ病棟で働いている方がおります。その方の子どもたちが、保育園で預かってもらえないということが生じてきています。学校が再開するときに、そのようなことが起こっては困るし、医療従事者のお母さんが居ると感染してしまうかもしれないといった偏見が起こらないように配慮しながら再開してもらいたいと

思います。コロナウイルスは、最終的には風邪のように、ほとんどの方が罹ることになると思いますが、今の段階で急に全員が罹ってしまうと医療崩壊してしまいますし、医療費も増えるので、なんとか抑えていければと思います。少なくとも、差別のないように校長先生から子どもたちに話して欲しいですし、学校内で差別や偏見など、そういうことを予め考えておかないと、医療関係者や介護施設で働く親の子どもたちが苦勞してしまいます。

教育長（飯野眞幸）

先程、子どもの差別的なお話がありましたが、そのような部分も踏まえながら、学校再開に向けて予め協議しておく必要があると思います。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。

教育長職務代理者（竹内一普）

公民館や図書館が先行して再開されていると思いますが、再開後の様子ですとか、子どもたちが自習で使っていたと思いますが、現在の様子はどのようになっていますか。

中央公民館長（藍美香）

5月16日の土曜日から再開していますが、5月末まで休館させていただくと周知していましたので、今のところ利用しない団体が多い状況です。6月からは徐々に活動を開始していきたいというお話を頂いておりますので、感染拡大防止に向けた手指消毒や三密を避けて頂くなど、強く呼びかけながら活動していただきたいと考えています。

教育長（飯野眞幸）

補足をさせていただきますが、学校再開にあたって、1学級の児童生徒数が多い学校については、体育館や特別教室を利用しますが、国の方では、公民館等も活動場所に挙げていますので、場合によっては、子どもたちのために公民館を利用させてもらう可能性がありますので、その辺はお含みおき頂きたいと思います。

教育部長（小見幸雄）

教育長がお話されたように、学校の規模によっては教室が不足する事があるかと思います。その場合には、国では公民館や図書館を活用するよにという話が来ています。学校の現状をよく把握して、どうしても対処できない場合には、付近の公民館等を活用するという方法も考えていますので、よろしく願いいたします。

教育長（飯野眞幸）

図書館の状況報告もお願いします。

中央図書館次長（齊藤寛方）

三つの密を避けるという観点から、短時間での利用を呼びかけており、学習室と閲覧席の利用を停止させていただいています。また、30分毎の窓開け換気や、カウンターでの順番待ちの間隔を示すフロアマーカーを設置いたしまして、三密を避けるような工夫をしています。また、入館にあたりましては、マスクの着用や手指消毒をしていただき、施設管理につきましても、清掃の徹底、カウンターや蔵書検索機の消毒等も行っ

います。今後、県による警戒区分の緩和なども考慮しながら、段階的かつ慎重に通常の機能に戻って行きたいと考えています。

教育長職務代理者（竹内一普）

ありがとうございました。自習室の活用というのは、子どもたちにとって大事なエリアですから、状況の判断をしっかりとって再開に向けて頑張って頂きたいと思います。

教育長（飯野眞幸）

学校再開に向けての今までの論議の中では、不登校の子どもたちにどのような対策をしているかというご質問と、再開が目前に出て来ると、なかなか学校に行けない子どもたちもいるという事を想定した取組をして欲しいというご意見をいただきました。その辺を踏まえて、塚田委員にご意見を頂けたらと思います。

委員（塚田展子）

私が気になることは、新聞にも出ていましたが、自殺の問題です。子どもの場合、夏休みや長期の休み明けの前後に自殺が多くなります。大人の場合、この10年で1万人ほど減少して、数が少なくなっていると言われていたのですが、子どもはここ3年間、ずっと上がっていきまして、2019年度のデータでも上がってきているということです。多くの子どもたちは、友達に再会できる喜びや楽しみの方が多いのですが、中には不安を感じている子どももいるようです。

また、昨日の読売新聞に出ていましたが、先生方が再開に向けてスケジュールや授業案を色々変えたりしているというのは良かったなと思っています。そのような中において、子どもにも目を向けなければいけないので相当大変ですが、何かあった時にはどんどん出した方が良くと思います。夏休み明け前後というのは危険で、敷居が相当高くなっている子どももいるので、その辺りが気にかかります。正直、本当は先生方のメンタルヘルスも私は気になっています。その辺のところが負担にならないよう、配慮をお願いできればいいかなと思います。

教育長（飯野眞幸）

確かに大人の自殺は3万人を切っていますが、子どもたちの自殺は増えているのですね。以前指摘させていただきましたが、そのような悲劇が起こらないようにしなければいけません。塚田委員がご指摘のように、3ヵ月も学校生活を送れなかった部分のストレスが、子どもたちにも随分深くなっていると思いますので、我々としても気を付けて行かなければいけません。

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ないようですので、以上をもちまして、教育委員会5月定例会を閉会させていただきます。

本日は大変お世話になりました。